

YAMAHA ELECTONE®

CK-10 BK-50 BK-30



取扱説明書

このたびは、ヤマハエレクトーンをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。お手許のエレクトーンは、楽器づくり80年の経験をもとに、ヤマハが精魂こめて作り上げたものです。

その音色は幅広くさまざまな楽器の利点を合わせ持っており、さらに初心者の方でも手軽に楽しめるオートベース／コードシステムを取り入れておりますので、まさにご家族みなさまの楽器として楽しんでいただけたと思います。

本書では、エレクトーンを持つ多彩な機能をフルに活用していただくために、正しい取り扱い方法をご説明いたしておりますので、是非ご一読くださいますようお願い申し上げます。

なお、本書はオートベース／コードつきの3機種CK-10、BK-50、BK-30についてまとめており、CK-10を基本に置きましたので、あらかじめご了承ください。

★目次

各部の名称	1～2
トーンレバー	3～4
プリセット	5
効果音の種類	6～8
オートリズム	9～12
オートベース／コード	13～17
カセットについて	18～21
演奏方法	22～24
仕様と音域表	25～26
音の出るしくみ	27
附属端子	28
保存方法	29
椅子の組み立てかた	30
防音について	31
ヘッドホンについて	32
サービスを依頼なさるまえに	33
保証とサービスについて	34
エレクトーン教室の案内	35
ヤマハステレオの案内	36
故障ではありません	37～38

各部の名称

(CK-10にカセットEC-500(別売)を組み込んだ写真です)



①ペダル鍵盤のトーンレバー／ペダル鍵盤にはバスの音色があります。

下鍵盤のトーンレバー／下鍵盤には、ホルン、チェロ、フルートの音色があります。

② <BK-30はチェロ、フルートのみ>

③オートリズム

④上鍵盤のトーンレバー／上鍵盤にはフルート、プラス、オーボエ、ストリングの音色があります。<BK-30はフルート、オーボエ、ストリングのみ>

⑤上鍵盤／主に右手でメロディーパートを演奏します。44鍵f～c4、3 $\frac{1}{2}$ オクターブ。

⑥下鍵盤／主に左手で伴奏パートを演奏します。44鍵F～c3、3 $\frac{1}{2}$ オクターブ。

⑦トータルボリューム／全体の音量を調節します。

⑧電源スイッチ

⑨カセットテープデッキ(EC-500)

⑨リバーブ／一種の残響効果で、豊かな余韻をつくり出します。

⑩スペイシャスサウンド／音が空間を飛び交うような効果を出します。

⑪プリセット <CK-10のみ>

⑫マニュアルバランス <CK-10, BK-50のみ>

⑬オートベース／コード

⑭サステイン／音がごくなだらかに、静かに減衰する効果をつくり出します。<CK-10のみ>

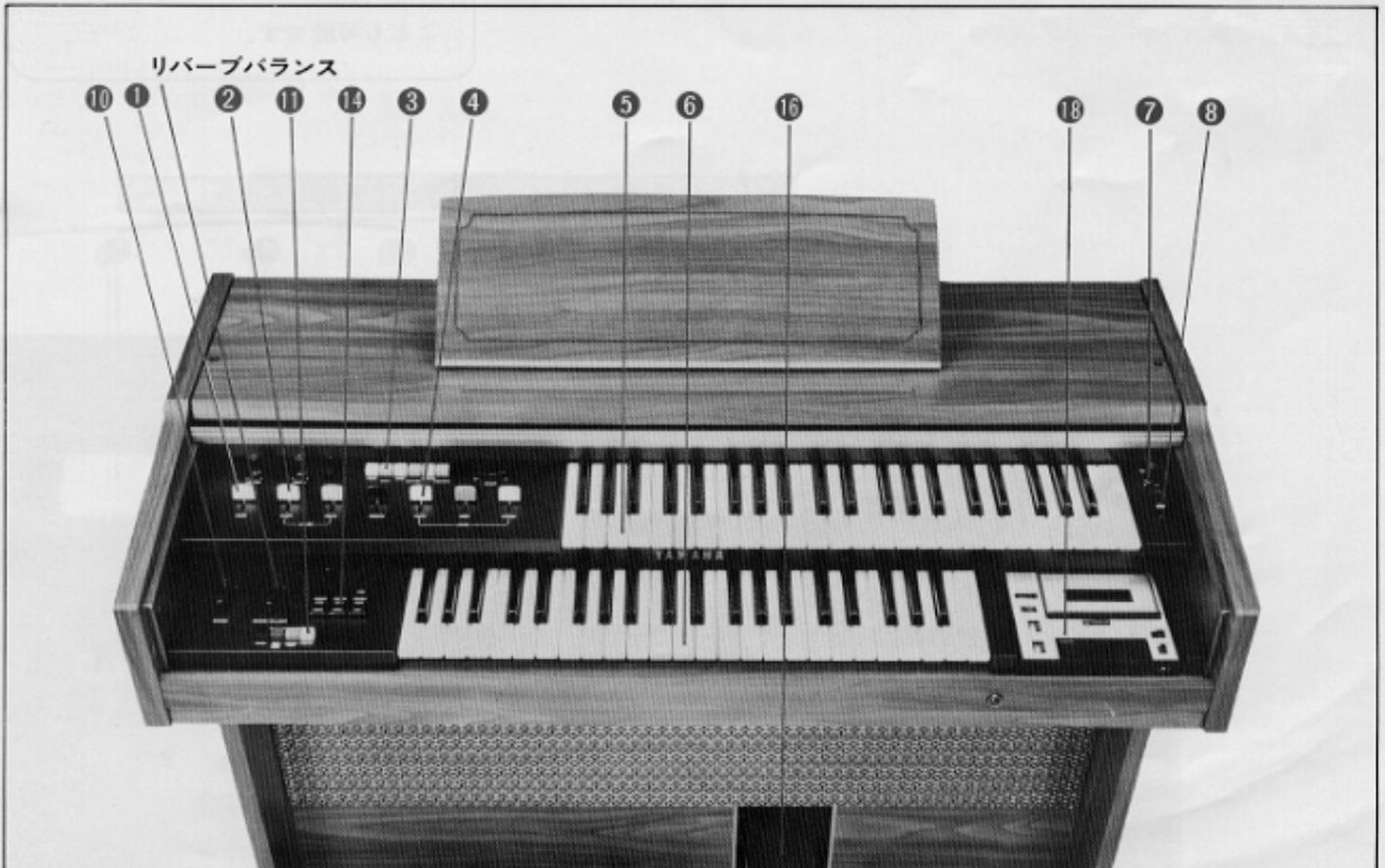
⑮ニーレバー／右ヒザで押すとサステインがかかります。<CK-10のみ>

⑯エクスペッションペダル／音の強弱、音の表情は右足のこのペダルによってつけます。<フットスイッチ付,CK-10,BK-50のみ>

⑰ペダル鍵盤／左足でベースパートを演奏します。13鍵C～c、1オクターブ。



(BK-50にカセットEC-500(別売)を組み込んだ写真です)



(BK-30にカセットEC-500(別売)を組み込んだ写真です)



トーンレバーの名称

	CK-10	BK-50	BK-30	
上鍵盤	フルート	16' 8' 4'	16' 8' 4'	●
	プラス	8'	8'	
	オーボエ	8'	8'	●
	ストリング	8' 4'	8'	●
下鍵盤	フルート	8'	8'	●
	ホルン	8'	8'	
	チェロ	8'	8'	●
ペダル鍵盤	バス	16' 8'	●	●

下鍵盤のトーンレバー

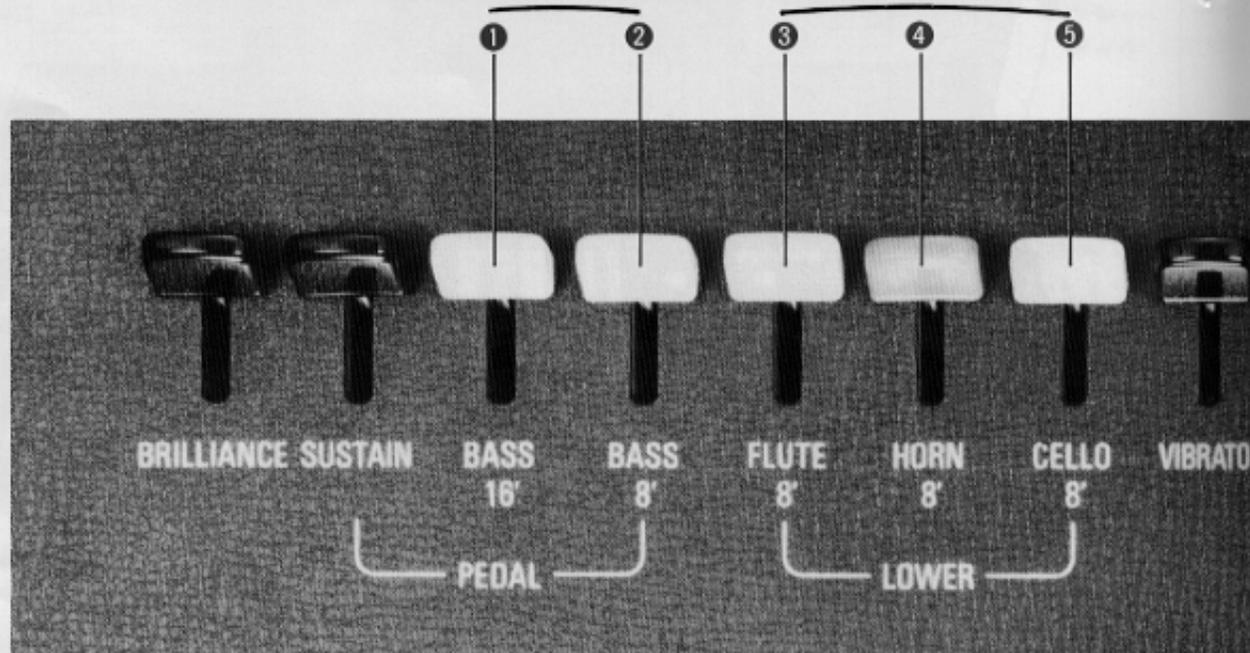
- ③フルート8' / フルートの音色です。澄んだ落ち着いた音がします。
- ④ホルン8' / クセのない豊かなホルンの音色が得られます。
(CK-10, BK-50のみ)
- ⑤チェロ8' / やわらかく自然なチェロのような音色です。

ペダル鍵盤のトーンレバー

- ①バス16' / エレクトーンの最低音部を受け持ちます。(CK-10のみ)
- ②バス8' / バスのオクターブ上の音です。これを16'に加えると、ペダル鍵盤の音は音程が聴きやすくなり、ペダル鍵盤でメロディを演奏することも可能です。

ペダル鍵盤のトーンレバー

下鍵盤のトーンレバー



上鍵盤のトーンレバー

⑥フルート16'/やわらかで澄んだ音が出ます。他の音色とのハーモニーがきれいです。このフルート16'のレバーを手前に引くと、1オクターブ下のフルートの音が加わります。〈CK-10, BK-50のみ〉

⑦フルート8'/フルートの音色です。澄んだ落ち着いた音がします。

⑧フルート4'/フルートのオクターブ上の音が出ます。これを加えると音は華やかさを増します。この音

を単独で用いれば音域を1オクターブ広げる使い方ができます。

〈CK-10, BK-50のみ〉

⑨ブラス8'/金管楽器独特の複雑な波形をもった鋭い感じの音です。比較的あかるい感じがします。

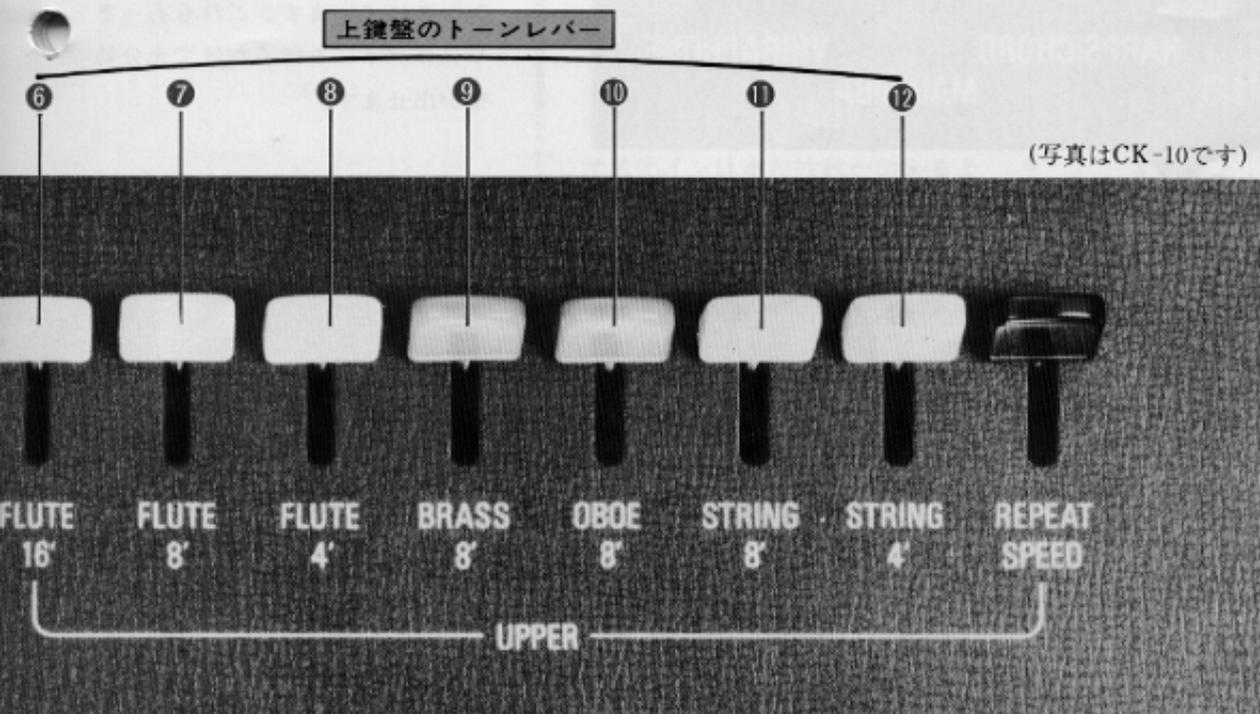
〈CK-10, BK-50のみ〉

⑩オーボエ8'/オーボエのようなダブルリードの楽器の音で、やはり複雑な波形を持っています。これにより、演奏の味つけの効果が一段と増し、ストリングなどに加えると大変クリアーな効果があらわれ

ます。

⑪ストリング8'/弦楽器の音は更に複雑で豊かな音色になります。このトーンレバーの音も、そうした弦楽器の特徴をよくあらわしています。

⑫ストリング4'/ストリングのオクターブ上の音が出ます。これを加えると一層華やかなサウンドが生まれ、また単独で用いれば、音域を1オクターブ広げることもできます。〈CK-10のみ〉



プリセット

■プリセット

下鍵盤左側の拍子木の一番手前にある黒と緑の5つのボタンが4種類のインストゥルメントトーンが楽しめるアッパープリセットです。

これは、そのボタンを押すと上鍵盤が、ボタン下に表示されている楽器音に瞬間に切り変わります。

また、これは上鍵盤の他のトーンレバーより優先されますから演奏

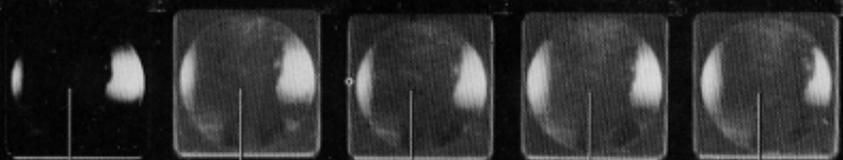
中でも素早くサウンドを変えたり、また元のレジストレーションに戻したりすることができ、演奏の表現力が一段と増してきます。

このボタンの機構はオートリズムセクターと同様、一つのボタンを押すと同時に自動的に他のボタンはキャンセルされます。元の音色（レジストレーション）に戻りたいときは、一番左端の黒いキャンセルボタンを押してください。

〈CK-10のみ〉

(写真はCK-10です)

UPPER PRESETS



CANCEL

PIANO

HARPSICHORD

MARIMBA

VIBRAPHONE

キャンセル・ボタン

①

②

③

④

①ピアノ

フルート系の音色で作られたピアノトーンです。あらかじめ適当な長さのサステインも含まれています。

②ハーブシコード

ハーブシコードの音です。ハーブシコードは左手の伴奏も上鍵盤で弾くと、更に感じができます。

これもサステインが同時にプリセットされています。

③マリンバ

押えた鍵盤に1オクターブ上の音が交互に発信され、マリンバのトレモロの感じを出しています。

これは、和音などで押えるよりもむしろ単音でメロディーだけをあっさり弾くような使い方が効果的です。

④ビブラホン

ビブラホンの特徴ある音が、揺れながら消えてゆく感じがうまく生かされています。これもあっさりメロディーを弾くだけで充分効果が出せます。



音を豊かに創造する効果音

■効果音について

エレクトーンがピアノやオルガンなど、一般鍵盤楽器と根本的に違うところは、さまざまな音色や効果音がレバー操作だけでつくられることです。フルートのような管楽器の音や、ドラムのような打楽器の音でもお望みの楽器音や効果音が自由に使い分けられます。

ですからレバーを巧みに使えば、これが同じ曲かと思うほど素晴らしい演奏効果があげられるのです。

	CK-10	BK-50	BK-30
ビブラート	●	●	●
リビート スピード	●		
リバーブ	●	●	●
サステイン	フットペダル	ペダル	
ブリリアンス	●	●	
スペイシャス サウンド	●	●	●
(カブラー)	●	●	

●ビブラート

これは音の震える効果です。音がかすかに揺れて、さわめてデリケートな雰囲気をつくります。



●リビート・スピード

歯切れのよい断続音を得られる効果です。ちょうどマンドリンを弾いた時のような、こきざみな音の感じが得られます。

●リバーブ

一種の残響効果です。大ホールで音を出したような豊かな余韻をつくり出します。

●サステイン

リバーブは一種の山ごみみたいなものですが、これとは対称的にサステインは水の波紋が消えるように、音がごくなだらかに静かに消えていきます。



●ブリリアンス

オーケストラの持つあの華麗な響きをつくり、それぞれの音色がひとときわ輝かしくなります。



●スペイシャスサウンド

このスペイシャスサウンドが加えられると、音が空間を飛び交うような感じが得られます。

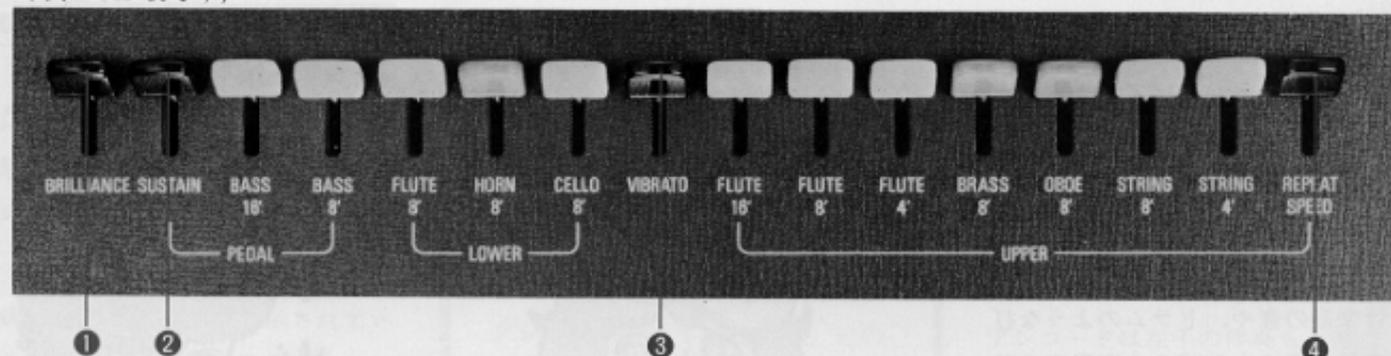
●カブラー

一つのキーから幾つもの音を重ねて出すことができます。しかも単に音を重ねるだけでなく、独特な音の効果を生じさせることができます。



効果音の種類

(写真はCK-10です)



■エフェクトレバー

①ブリリアンス [BRILLIANCE]

これは音色全体をきらびやかな感じにしたりやわらかな感じにする時に使います。

〈CK-10, BK-50のみ〉

②ペダルサステイン [PEDAL SUSTAIN]

ペダルサステインをかけることにより、コントラバスのピチカート奏法の感じを出すことができます。

〈CK-10, BK-50のみ〉

③ビブラート [VIBRATO]

これは音の震える効果です。このレバーを入れると音が生き生きとやるおいを持ってきます。

レバーの深さの程度によっていろいろな感じを作り出します。

④リピートスピード [REPEAT SPEED]

リピートを入れると上鍵盤の音が歯切れのよい断続音になりちょうどマンドリンを弾いた時のような、こきざみな音の感じが得られます。

レバーの位置により、かかり具合

いが調節できます。〈CK-10のみ〉

■カブラーについて

カブラーとは、一つの音と別の音を組み合わせることで使うことです。

これによって、一つのキーを押しただけで、いくつものキーを押した場合と同じ結果となります。

たとえばフルート8'をいっぱいにおろし、次にフルート16'を入れてみます。そうして演奏した場合一つのキーを押しただけで、フルート8'の音と、その1オクターブ下のフルート16'の音の二重音が出ているというわけです。しかもレバーをどの程度下げるかによって自由に音の強さを加減できますから、いくつもの音色が作りだせます。

〈フルート16'は、CK-10, BK-50のみ〉



■コントロールレバー

●マニュアルバランス [MANUAL BALANCE]

下鍵盤の左側にあるレバーのうち右側のレバーです。

これは上鍵盤と下鍵盤の音のバランスをとるためのもので、普通は中央位置にセットしておきます。

しかし、上鍵盤のメロディをもっと引き立たせたいときはこれを右にまわし、逆に下鍵盤の音が弱すぎる時は左にまわします。

〈CK-10, BK-50のみ〉

●アッパーサステイン [UPPER SUSTAIN]

エレクトーンでは普通キーを押した瞬間に音が出て、離れた瞬間にブツリと切れてしまいます。ところが既存の楽器、特にピアノではダンパーペダルを踏んでいればキーを離れた後も音が自然に減衰していきます。こうした効果を出すのがアッパーサステインです。

下鍵盤左側のレバーの左側の下にある黒いレバーで、サステインの減衰の長さを調節します。

一番左端にセットすると減衰時

間は0で、従ってサステインはかかりません。だんだん右に廻すにつれて減衰時間は長くなってきます。演奏中サステインをかけたりかけなかったりする場合はニーレバーでコントロールすることができます。右膝で外側(右側)に押しとON、戻すとOFFになります。

またニーレバーを倒しておけばサステインはかかったままになります。〈CK-10のみ〉



(写真はCK-10です)

●リバーブ
〔REVERB〕

下鍵盤左側のレバーのうちの左側の2段になっている上の白いこのレバーを入れると大ホールで演奏しているような残響が得られます。

このレバーを左端にセットするとOFFになり、右にまわすにつ

れて残響が長くなります。

●リバーブバランス
〔REVERB BALANCE〕

下鍵盤左側の二段になっているレバーの内、下にある黒いレバーです。

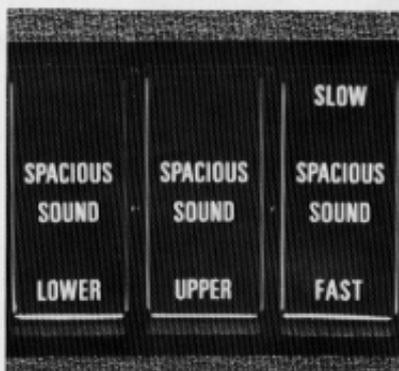
リバーブの掛かり具合を上鍵盤と下鍵盤とでバランスをとることができます。普通は中央の位置にセットしておきます。

〈BK-50, BK-30のみ〉

■タブレット

●スペイシャスサウンド
〔SPACIOUS SOUND〕

この効果は、別名電子トレモロとも呼ばれるもので、上鍵盤と下鍵盤に別々にかけることができ、一種の音色変化が自動的に得られる



ものです。

これにより上鍵盤の音と下鍵盤の音にまろやかな広がりがつき、一層すばらしい音が得られます。

また「SLOW/FAST」のタブレットによってスピードも変えることができます。

■その他

●エフェクトニーレバー

アッパー8', 4'サステイン効果を、演奏中に入れ切れする為に使われます。〈CK-10のみ〉

●トータルボリューム

トータルボリュームは深夜など人の迷惑にならないように、自由に音量調整ができます。

またエクスプレッションペダルとの併用により曲の途中や終りでpp等の最弱音の効果を出したいときこのトータルボリュームでコントロールします。